

議会だより まじこ

令和7年
12月定例会

No.171



議会報告会並びに 意見交換会

12月定例会、臨時会審議結果	2～3
一般質問	4～6
行政視察研修	7
常任委員会活動	8～9
町民の声	10

12月定例会

令和7年度補正予算を審議

令和7年第47回定例会は、12月2日から12月4日までの3日間の会期で開かれました。

補正予算4件、条例の一部改正4件などを審議し、原案どおり可決しました。

町政に対する一般質問では、5名の議員が登壇しました。

令和7年度補正予算

令和7年度12月補正予算(一般会計補正予算第5号、各特別会計補正予算第2号)は全員賛成により可決しました。

会計区分	補正前の額	12月補正額	合計
一般会計	96億1,646.6万円	8,399.6万円	97億0,046.2万円
特別会計	国民健康保険	25億1,577.6万円	25億4,059.2万円
	後期高齢者医療	3億0,162.8万円	3億1,305.2万円
	介護保険	18億2,062.1万円	18億2,217.9万円
下水道事業会計	8億9,511.9万円	0円	8億9,511.9万円

【歳出補正予算の主な内容】

- ・ 庁舎高圧ケーブル敷設工事（323万円） ・ 北益子町有地土留工事（164万円）
- ・ 自立支援給付費（2,469万円） ・ 農業用ため池応急工事（155万円） ・ 橋梁補修工事（2,100万円）
- ・ 給食センターキュービクル改修工事（465万円） ・ 田野中高圧ケーブル、PAS取替工事（232万円）
- ・ 町民センター西側駐車場整備工事（540万円） ・ あぐり館雨漏修繕工事（693万円）
- ・ 町民センタープール西側駐車場整備工事（443万円）

条例の制定

● 益子町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 (全員賛成)	子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により児童福祉法が改正されたことに伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるため、本条例を制定するものです。
--	---

(全員賛成)

● 益子町議会議員及び益子町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正 (全員賛成)	正に伴い、本町においても国に準じた条例の改正を行うもので。改正の主な内容は、益子町議会議員及び益子町長の選挙における選挙運動用ビラ及びポスター作成の公費負担に係る作成単価の上限額について、国政選挙の基準に準じて引き上げるもので。益子町の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
● 益子町消防団設置条例の一部改正 (全員賛成)	近年の少子高齢化や人口減少により消防団員の確保が困難となっていること、及び火災時における消防署の出動体制も強化されていることから、条例の一部を改正するものです。改正の主な内容は、火災等に対応できる消防団の適当な規模として、団員定数を219人から180人に変更するものです。

規約の変更

● 栃木県市町村総合事務組合
規約の変更
(全員賛成)

令和8年4月1日から、佐野市が規約第4条第4号に掲げる事務及び第5号に掲げる事務の共同処理に加入することに伴い、栃木県市町村総合事務組合規約を変更するものです。

人事

● 益子町監査委員の選任の同意

(全員賛成)

令和8年2月28日付けをもって任期が満了する、益子町大字塙 萩庭正幸氏の後任人事で、益子町大字下大羽 小堀浩氏の選任に同意しました。

● 人権擁護委員候補者の推薦 (全員賛成)

令和8年3月31日付けをもつて任期が満了する、益子町大字長堤 大岡功氏の後任人事で、引き続き同氏の推薦に同意しました。

12月臨時会 益子町民センター西側駐車場整備工事請負契約の変更

令和7年第48回臨時会が12月24日に開かれ、契約の変更1件が審議可決しました。

契約の変更

益子町民センター西側駐車場整備工事請負契約について、金額「6千325万円」となっていたものを「6千578万円」に、工期の終期について、「令和8年1月29日まで」となっていたものを「令和8年3月10日まで」に変更するものです。

一般質問 5名の議員が登壇！

※議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自ら要約執筆し、広報広聴常任委員会において議事録に基づいて精査した上で掲載しています。

上野 健 議員 (4ページ)

- ① 空き家、空き店舗対策について
- ② 次年度の予算編成について

高橋 家光 議員 (4ページ)

- ① 町内経済の活性化について
- ② オーダーメイド方式産業団地企業誘致について

加藤 芳男 議員 (5ページ)

- ① 町道の維持管理について
- ② 物価高対策について
- ③ 悠和館について
- ④ 図書館について

直井 瞳 議員 (5ページ)

- ① 役場周辺土地区画整理事業について
- ② デジタル地域通貨「ましこイン」について
- ③ 図書館整備について

星野 壽男 議員 (6ページ)

- ① 益子焼による観光振興について
- ② 中学校の部活動について
- ③ 屋内プール建設について

※質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内としています。

町議会ホームページから会議録をご覧いただけます。(12月定例会の会議録は2月下旬に公開予定です。)

一般質問の映像DVDを中央公民館図書室で貸出していますのでご利用ください。



上野 健 議員

空き家、空き店舗対策について

質問

益子本通り活性化協議会、本通りまちのデザイン研究会の活動状況はどのようになっているか。

町長 本通りに関するトーケーションやクリスマスマーケット、実際に通りを歩いてみるワークショッピングなどを行い、空き店舗や街灯等の地域課題について調査研究を行っている。協議会は、新町、田町、内町の各自治会長に参加いただき、まちのデザイン研究会の活動を報告する会議を開催し、本通りまちづくりに関する検討、協議を行っている。

質問 中小企業基盤整備機構などの公的な支援はどのようになっているか。

町長 現在、活用された事例はないが、支援を希望される事例があつた場合には益子町商工会と連携して対応していきたいと考えている。

質問 一般住宅の解体費用が高騰している中、益子町には補助金等がありませんが、今後どのように考えているか。

産業建設部長 家屋の解体費用については、県内の状況を確認して、検討していきたいと思っている。

質問 空き店舗を、今後所有者が自己責任においてどう活用していくかを調査しているか。

産業建設部長 所有者の方と会える場合については、適切な管理をして下さいとお願いの上、今後どのように形で考えているのかという意向のほうも確認をしている。

次年度の予算編成について

質問

物価上昇の影響はどの程度見込んでいるか。

町長 予算要求段階であり、確實なことは申し上げられないが、一定の影響は避けられないと考えている。事業に必要な見積りや積算を基に、要求された金額を精査した上で次年度の予算を編成していく。

質問 事業内容や補助金等の見直しをどのように考えているか。

町長 令和8年度は物価上昇などの影響により歳出予算の規模が拡大することが予想されるので、限りある財源を最大限に活用できるよう、その必要性や有効性を改めて点検し、検討する必要があると考えている。



高橋 家光 議員

町内経済の活性化について

質問

人口減少は経済にも大きな問題であり、質の高い経済政策を行うことで町の経済を成長させることができ。町で推進しているDXは、町の生産活動にも有効な手段だと考

えるが、どのように感じるか。

副町長 益子ならではの魅力、ポテンシャルを磨き上げて高めていくことが必要である。農業や観光を含めた全体的な高付加価値化、それを進めるこにより人口減少の中においても町の活力、地域活性化を図つていくことが必要と捉えている。

質問 課題解決の仕方について、表面的な原因ではなく奥にある根本的原因を特定することが重要と考えるが、どのように行われているか。

質問 町長の考える益子町が上向く一番重要な施策とはなにか。

町長 一番の課題は人口減少、少子化と思っており、食い止めるためにはきちんとした経済対策が必要だと思っている。大人の留学益子編がスタートし、五年後には年間100人の方に体験していただき移住定住に繋げていきたい。持続可能な町であります。

町長 広くいろいろな人から意見を聴取すること、また、様々な角度から検討することが重要と考えている。まちづくり懇談会において各自治会に出向いて話を聞いた経緯もあるようなものか。

町長 広くいろいろな人から意見を聴取すること、また、様々な角度から検討することが重要と考えている。まちづくり懇談会において各自治会に出向いて話を聞いた経緯もあるようなものか。

質問 過去三年における町道の補修、整備費用はいくらになるか。

町長 過去三年における町道補修整備費は令和四年度は約一億二千万円、令和五年度は約一億一千万円、令和六年度は約一億二千万円である。

質問 今後の道路改良工事の予定はどのようになっているか。

町長 令和八年度から十年度までの三年間で毎年五か所、約五百メートルを予定している。

意見 町道のなかには消防自動車、救急車が通れない道がある。予算を倍増していただき住みやすい町、安全な町を目指していただきたい。

図書館建設について

質問 今までに図書館建設に要した金額はいくらになるか。

町長 令和六年度までにかかった費用は、測量費や設計費で六千万円、施設予定地の整備費を含めた図書館本体の建設予定費用は十七億円である。事務管理費は図書館基本計画で

町道の維持管理について



加藤 芳男 議員

想定した数値を目途に運用していく。

質問 全国の図書館を視察してきたが、財政力のある市町は素晴らしい複合図書館を建てている。建設されている場所、地形も一つの重要な要素であり、益子町ではこのような複合図書館は財政的にも難しいと感じた。図書館建設をしばらく凍結する考えはあるか。

町長 本町が選ばれる町になるため、子供たちの子育て、教育環境の充実、未来を担う人材育成、すべての人が集える知の広場としての図書館を整備したいと考えており、凍結は考えていない。

質問 町民会館の脇に建設するに至った経緯を伺いたい。

町長 前回の町長選の争点にもなり、町の財政状況等から大きな建物が要るのかという観点から、事業費を少しでも圧縮した図書館建設を考えた。

質問 図書館よりも、複合施設的功能を持つ町民交流施設のほうが町民は喜ぶと思うが、町長の考えはいかがか。

町長 複合施設がもう町民会館の中に基本的にあると考えており、そういう意味でも、そこに接したほうが人が集える場所になると考へたいと考えている。

役場周辺土地地区画事業について



直井 瞳 議員

デジタル地域通貨「ましコイン」の導入について

質問 「ましコイン」導入に際して生じるデメリットはあるのか、その改善策をどのように講じるのか。

町長 従来の地域通貨でないと考へている方やスマートフォン決済に慣れていない方については、敬遠されることが考えられることから、丁寧な説明を行うとともに使い方講座を開催する等理解促進に努めていく。

質問 総工事完了までのスケジュールはどのようになっているのか。

町長 令和13年度の事業完了を目指し、令和10年度に工事のピークを迎える予定である。工事完了後に換地処分、清算、登記を考えている。

質問 当初予定の事業期間が延びることにより予算額も増えるのか。

産業建設部長 当初の予定として21億6千万円の予算額としていたが、昨今の物価上昇も踏まえ、約4億円増加する予定である。

図書館整備費の増額について

町長 デジタルデバイド対策等として、指摘のとおりスマートフォンの補助制度など検討していく時期ではある。検討させていただきたい。

図書館整備費の増額について

質問 大規模区画となる保留地の使途が未定となっているが、町に必要とされる施設や事業所等の誘致が望ましいと考える。区画整理組合などどのような協議を行っているのか。

町長 町の課題解決に向けた施設誘致の調査研究の取り組み結果を踏まえ、民間事業者等へ当該地の紹介や案内PRを始めた。組合へは役員会等で進捗を報告し、意見をいただきたいと考えている。

質問 将来の財政面を考慮して費用削減の下、中央公民館を改修し増改築で整備するとしていたが、なぜ計画初期の新設整備費を上回る17億円超の整備費となってしまったのか。

町長 整備費の増額は、交付金対象となる備品等を建設経費に転用したほか、工事単価や物価の高騰によるもので、可能な限り図書館の機能を損なわないことに注意した上で、今後事業費の削減に努めていく。



星野 壽男 議員

益子焼による観光振興について

質問 陶器市期間中関東やきものライナーが減便されたが、臨時便を真岡鐵道等に要望できないか。

町長 残念ながら車両数の問題等もあり、難しい旨の回答を得ている。質問 観光客を呼び込むために益子夜市のようなイベントや、遊具がある施設等の誘客策の考えはないか。

中学校の部活動について

質問 国は、全ての中学校の部活動を、休日だけ地域のスポーツクラブに委ねると発表したが、町はどう捉えているか。

教育長 部活動の地域展開については、結論を急ぐことなく腰を据えて

取り組んでいきたい。

質問 昨年から始まつた拠点校に對し、生徒や保護者の反応はどうか。

教育長

生徒は、拠点校に通つて部活動ができて試合にも出られて喜んでいる。保護者についても、子どもがやりたいことに協力したいという

ことで、親同士協力し合つて送迎をし、それを励みにしているようだ。

質問 全部活を拠点校いわゆるオール益子にしてはいかがか。

教育長 全ての種目について地域移行を目指しており、益子町部活動地域移行検討委員会においても確認している。

屋内プール建設について

町長 観光協会やましこカンパニー等とも連携し、通年観光のまちを目標に町として支援をしていく。遊具がある施設等については、お子様連れの観光客をターゲットにすることで、地域経済の活性化に繋がると考えられる。今後調査研究をしたい。

質問 昨年、芳賀中部環境衛生事務組合の跡地に、屋内プールの建設を要望したがその後どうなつたか。

町長 敷地の大部分が益子町であることから活用の提案をすることとしている。国道123号線からの進入しやすい立地であり、産業用地としての活用が適正と考えている。

質問 北西側には市貝町の跡地も

ある。町長同士で協議をして市貝町と共同で建設してはいかがか。

町長 軽部町長も副管理者という立場でもあり議論をしていきたい。

令和8年度予算の要望を町長に提出

議員研修

10月30日、議会から町長に対し、来年度予算について要望書を提出しました。

道路整備予算の拡充、産業団地の

予算の拡充、公共交通デマンドタクシーの充実、特産物推進の補助、益子本通り町づくりの支援、役場周辺土地区画整理事業の支援拡充、重要

通学路の危険個所の把握、整備・修繕、子ども食堂運営費補助金の増額、

婚活支援施策への重点投資、介護職員の確保に向けての施策費と、地域区分上乗せ、母子保健情報のデジタル化などを要望しました。

芳賀郡市町議会議員自治研修会



11月6日、真岡市のフォーシーズン静風で研修会が行われました。講師は宇都宮大学教授大森宣暉氏で、「少子高齢社会の交通とまちづくり」というテーマで講演を聴きました。

県町村議会議員研修会

11月25日、県総合文化センターで研修会が行われました。講師は全国

町村議会議長会議事調査部 副部長 皆川貴史氏で、「町村議会の議員報酬の改善に向けた現況と課題」というテーマで、また、講師が一般社団法人地方公共団体政策支援機構 上席研究員 渡辺大樹氏で、「議会におけるデジタル活用を通じた政策立案・政策議論とは」というテーマで講演を聴きました。



中之条研究は運動編・睡眠編・食事編とあり、特に運動編の中で「中強度運動が健康長寿のカギである」としており、1日8000歩・中強度運動20分が疾病予防に効果的として歩き方のフォームなども合わせて示されている。

これらは益子町の健康増進計画「施策の展開」に役立つのではないか。

また、食事編では高齢者の乳酸菌摂取が健康増進に有効なサポートであるとされ、企業との共同研究も紹介された。

ケーブルTVでは「社会を明るくする運動」と「診療所情報報」も放映しており、益子町もケーブルTVが接続された暁には参考になるのではないか。

中之条町と町民の健康増進のためのパイプ役を担う「すこやか健康員」は60名程度おり、「食生活改善推進員」とともに活動している。

益子町も町内の各団体でのような役割を担う活動もできるのではないか。

たる、東京都健康長寿医療センター研究所の青柳先生と中之条町の「身体活動と健康」がテーマの中之条研究は、第3期益子町健康増進計画の策定にあたり、施策の展開のヒントとなる点が見られた。

中之条研究では、高齢者に 対して身体活用計の機器を貸 与しており、そのデータをも とに施策を実施した結果、一 人当たりの年間の医療費が 約20万円程度削減につながつた 実績が紹介された。

また、ガン・脳卒中・心筋梗塞などの予防にも効果が上 がっているそうである。



工業団地の整備と企業支援体制の強化を進めている。町は「働く場の創出」と「定住促進」を柱に、地元雇用を重視した誘致政策を展開。町有地を活用した産業用地の造成、企業立地補助金、税制優遇措置など、企業が進出しやすい環境を整備している。

また、地元農産物や林産資源を活かした6次産業化、観光と連携した地域ブランドづくりも推進。特産の市田柿やワイン用ぶどうの生産を核に農業・観光・商工業の連携による地域経済の循環を目指し

群馬県中之条町(10月8日)

行

政

視

察

研

修

て
い
る

加えて、若者や移住者の起業支援にも注力し、空き店舗・

長野県高森町(10月9日) 【企業誘致・産業振興について】

シネマ拠点づくりも進行中である。こうした総合的な取り組みにより、高森町は地域の持続的な成長と人口定着を両立する「活力ある産業のまち」

「高齢者見守りネットワーク事業」については、認知症地域支援推進員2名が支援している。

地域の高齢者の状態を把握して、異常を早期発見して行政につなげることや、要望などを吸い上げるヘルプカード事業は特に参考となる観察となりました。

長野県高森町は、南信州地域の交通・物流の要衝としての地理的優位性を活かし、企業誘致と産業振興に力を入れている。

特に、中央自動車道や三遠南信自動車道（2030年リ

強い推進力を感じ取ることが
できた。

長野県高森町(10月9日)

7

総務産業 常任委員会

4項目

- 農業振興 (9/26)
- 人事管理及び職員研修 (10/30)
- 課税徴収率及び滞納整理 (11/27)
- 公共交通 (11/27)

田中享吾氏は、「直売主体の観光果樹農園」を目指して、上大羽地区に150aの農地を賃借し、ぶどうの棚作りから着手し約25品種を定植している。今後、ぶどう狩りと直売の他、道の駅ましこやJA直売所等への出荷、加工品開発、ECサイトでの販売、ふるさと納税返礼品登録、など多角的な販売を目指していくとしていて将来性のある若手新規就農者である。

新規就農者数の推移は、令和3年度から7年度にかけて、5人・3人・5人・4人・0人であり、平成26年度からの累計値は37人・40人・45人・49人・49人で令和6年度まで未来計画のKPIを若干上回っている。令和7年度の数値は8月31日現在の数値であり、年度後半に審査会があるので人数の増加が見込まれる。尚、現在トマト栽培を希望す

る人が1人いるが、益子町では該当する農家がないので市貝町で修業している。

新規就農者支援制度として、国庫補助事業は市町から青年等就農計画の認定を受けた者(49歳以下)を対象者として3種類用意されている。経営発展支援事業(国・県・就農準備資金(最長2年間)・経営開始資金(最長3年間))の3種類

などが、経営開始資金は生活費等にも使える上に夫婦型では、基本額の1.5倍の年間225万円まで交付されるので希望者が多い。

町単独の支援策は、認定新規就農者又は認定農業者となつてから3年以内の者を対象として、家賃補助・農業機械等導入費補助・種子種苗購入補助の3種類あり、家賃補助の利用者が多い。農業機械等導入費補助では、スピードスプレーヤー・乗用草刈機等を購入している。

農家の所得向上対策については、農産物のブランド化や食品加工センターを活用した6次産業化への取り組み支援、アグリツーリズム事業への支援等を実施している。さらに水稻農家向けとして、温室効果ガスの排出削減・吸収量を証する「J-クレジット」(JAPAN CREDIT)や

農と食のプロジェクトについて、「ましこ農の学校」で畔除去による「ほ場の大区画」などを推奨していく。J

最初、新規就農の取り組み事例について現地調査を実施した。

田中享吾氏は、「直売主体の観光果樹農園」を目指して、上大羽地区に150aの農地を賃借し、ぶどうの棚作りから着手し約25品種を定植している。今後、ぶどう狩りと直売の他、道の駅ましこやJA直売所等への出荷、加工品開発、ECサイトでの販売、ふるさと納税返礼品登録、など多角的な販売を目指していくとしていて将来性のある若手新規就農者である。

新規就農者支援制度については、当事者がいろいろな段階で使いやすい状況にするとともに、支援制度の周知徹底に努められたい。

農業研修者受け入れ支援事業では、認定農業者と農業研修者とのマッチング、経営継承に関する支援では継承する農業者と継承される認定新規就農者とのマッチング等に充て現状を把握し、今後の方向性を明確化されたい。特に家庭菜園程度の農との関わりと趣味の食品開発等で関係人口の増加を図るのか、新規就農者の育成と移住定住と加工食

1、農業振興 【審議結果】

最初、新規就農の取り組み事例について現地調査を実施した。

田中享吾氏は、「直売主体の観光果樹農園」を目指して、上大羽地区に150aの農地を賃借し、ぶどうの棚作りから着手し約25品種を定植している。今後、ぶどう狩りと直売の他、道の駅ましこやJA直売所等への出荷、加工品開発、ECサイトでの販売、ふるさと納税返礼品登録、など多角的な販売を目指していくとしていて将来性のある若手新規就農者である。

新規就農者支援制度については、当事者がいろいろな段階で使いやすい状況にするとともに、支援制度の周知徹底に努められたい。

【委員会の意見】

新規就農者支援制度について、農業研修者受け入れ支援事業では、認定農業者と農業研修者とのマッチング、経営継承に関する支援では継承する農業者と継承される認定新規就農者とのマッチング等に充て現状を把握し、今後の方向性を明確化されたい。特に家庭菜園程度の農との関わりと趣味の食品開発等で関係人口の増加を図るのか、新規就農者の育成と移住定住と加工食

品のトレンド化・ブランド化を推進するのか、明確化されたい。

教育厚生 常任委員会

5項目

- 子ども・子育て支援 (9/26)
- 学校給食 (10/30)
- 学校施設 (10/30)
- ごみの削減と資源循環 (11/27)
- 国民健康保険 (11/27)

1. ごみの削減と資源循環

【審議結果】

町の資源化の取組である「集団回収の奨励」については、自治会や子ども会育成会などによる資源物の集団回収運動を奨励し、リサイクルを推進している。奨励金の単価は、現金での交付の場合は5円/kg、地域通貨での交付の場合は6円/kgである。

「生ごみ堆肥化事業」については、平成26年から行っている事業で、生ごみを堆肥化し、出来た堆肥を町民に無料配布している事業である。令和5年の9月からは、草と葉の試験回収を開始している。家庭系生ごみは、町内事業者がステーション収集し共和化工に搬入し、草と葉は町民が直接共和化工に持ち込んでいる。

その他のごみの削減及び資源循環として、「生ごみ自家処理普及事業」、「生ごみ処理機等購入費補助」などの事業を展開している。

本年の7月には、「生ごみの堆肥化」や「生ごみリサイ

事業」などをテーマに、群馬県の千代田町が当町に行政視察に来ている。

2. 子ども・子育て支援

【審議結果】

偶数月の第2土曜日、役場玄関前及び駐車場にて実施している「エコ土曜日」については、令和6年度は回収重量も売上金額も増えている。エコ土曜日で回収した製品のリユース（そのまま再利用）は現在実施していない。回収した製品が欲しい方がいればリユースにより、資源の再利用に繋がるので今後検討ていきたい。

「フレードドライブ」については、社会福祉協議会と連携し実施しているが、昨年12月のフレードバンク（配布会）では生活困窮者47名に食品を配布することができた。

【委員会の意見】
生ごみと草や葉の堆肥化事業の宣伝方法について、現在の広報活動の他に、自治会代表者で共和化工の現地見学を行うなど検討されたい。

本年の7月には、「生ごみのリサイクル、リユース活動の他に「リデュース（ゴミの発生を抑制する）」事業施策

の検討をされたい。

て、虐待と思われる通報があつてから48時間以内に児童相談担当職員が安全確認を行う体制となっている。内容によつては、警察と連携するこもある。

「子どもの貧困対策の推進」では、教育の機会均等の保証、子どもの健全育成の視点に立つた学習支援事業に繋げている。県の事業である「まなびの教室」では、子どもへの学習支援をはじめ、仲間と出会い活動ができる居場所づくりや、進学に関する助言等の支援を行つており、町では支援が必要な家庭に周知している。

【委員会の意見】
子ども・子育て支援事業の新規事業が6事業増える中、事業のDX関連による職務時間の短縮、ネウボラ（助言の場所）を教育委員会との協議をされ、職員の働き方改革を考えた組織・職務の見直しを検討されたい。

「特別な支援を必要とする家庭への支援」では、児童虐待防止対策の充実、ひとり親家庭等の自立支援の推進、障がい児施策の充実、子どもの貧困対策の推進を掲げている。

町民の声

伊東 桂子さん



教養=今日用がある
教育=今日行く所がある
をモットーに日々を過ごして行きたい。

麻雀、カラオケ、音楽鑑賞、
プール、エッセイ、友人との
会話、読書、押し花、文通

他にもたくさんあるのをご存知だろうか。曜日や時間の調整をして皆さんも参加してみてはいかがですか。楽しいですよ。

介護保険が制度化されて何年になるのでしょうか。87才の今日までお世話になることもなく過ごしている。

三途の川の向こうでは両親はじめ私にたくさんの命を残して早世した夫や娘が待つて

いると思うが、まだ楽しい事がたくさんありそうなのでもう少し待つてね。いづれに

しても昨年献血の登録も済ませたし順番が来たら逝きます

からね。今はまだ元気ですよ。

昭和13年生れの私は87年を元気で生き抜いて来た。
生れた時はすでに日中戦争、やがて太平洋戦争に突入、終戦の玉音放送を聴いたのは小学校一年生の夏、その冬に父親を亡くした。

母と弟と三人で只々生きるしかなかつた。函館で生れた私は15才で津軽海峡を渡つた。東京で働きはじめた私は20才で結婚、小さな家も建てた。二人の子どもにも恵まれ10年間は子育てに専念、再び働きに出たのが38才、そんな時夫が事故死。時はバブル期、働いて働いて働いて働いて高市総理にも負けない位(笑)働いた。戦後の日本の復興の一端を担つて来たとも自負している。でも特別苦労



オレンジカフェの仲間と

あなたも議会を傍聴しませんか

次回 3月3日(火)
開会予定

本会議当日、3F議会事務局で傍聴証を交付します。
予約不要。



広報広聴
常任委員会

議会報告会及び意見交換会を10月18日中央公民館で開催しました。16人の方にご参加いただき、

次のようなご意見をいただきました。

皆さんからのご意見は、ある

広報広聴常任委員会で審査し、各委員会へ付託いたしました。

【益子の良いところ】

○陶芸文化の存在
○静かな山間部の環境

○地域交流がある
○移住しやすい(優しく

で孫たちと暮らすことと決め益子に移住して11年、孫たちは皆成長して私の手伝うこと

などなく、24時間全て自分の

時間として使える贅沢、町のいろいろな高齢者が集うサロンに参加して町の人々と友好

など、多数のご意見をいたしました。

【益子の直したいところ】

○公共交通機関の改善
○イベント情報が少ない

○道路に電柱が張り出で

いる
○里山風景の変質懸念

○ホームページの改善

